

中国人日本語学習者における日本語の「乗り物+で」と 「乗り物+に乗って」の選択

杉 村 泰

1. はじめに

本稿は中国人日本語学習者における日本語の「乗り物+で」と「乗り物+に乗って」の選択について論じるものである。中国語の“骑自行车”が単独で述部に使われた場合、日本語では「自転車に乗る」と訳される。しかし、例(1)のように連動文の前件に使われた場合は、「自転車に乗って」でも間違いではないが、普通は「自転車で」と言うと思われる。また、例(2)のように所要時間を表す場合は、普通「自転車で」を使い、「自転車に乗って」と言うとき許容度が落ちる。

- (1) a. 我每天骑自行车去学校。
b. 私は毎日自転車 {で / に乗って} 学校に行きます。
- (2) a. 到火车站骑自行车用十五分钟左右。
b. 駅まで自転車 {で / ? に乗って} 15分ぐらいです。

しかし、このような場合に日本語学習者は「に乗って」を使いやすい。次の例(3)~(6)は国立国語研究所の「多言語母語の日本語学習者横断コーパス」(I-JAS)から抽出した中国人日本語学習者の「に乗って」の例である。

- (3) 調査者：みんな歩いて、学校に来ますか？(日語母語者)
学生：いいえ、えーひとり(一人)う、一人がー、自転車に乗って〈はー〉、行きます(中国・20歳・男)
- (4) 天気がー、悪い時は、あー、バスをの、うば乗って、たっこう(学校)に行きます(中国・19歳・女)
- (5) ここからそのーバスに乗って三時間ぐらいかかります(中国・21歳・女)
- (6) あー、車ーのっ乗ってー、えー三時間ーかかります(中国・21歳・女)

そこで本稿では、アンケートによる二者択一テストを利用して、日本語話者と中国人日本語

学習者の「乗り物+で」と「乗り物+に乗って」の選択傾向の違いを見る。

2. 日本語の教科書の記述

中国の大学でよく使われている『新編日語』や『総合日語（修訂版）』などの日本語の教科書では、初級前半で「自転車で行く」のような表現が教えられている。以下に『新編日語』の第六課と第七課の該当部分を示しておく。

第六課「大学の生活」

前文 そして、七時四十分ごろ自転車で教室へ行きます。

会話 木村 自転車で行きますか。

李 はい、自転車で行きます。

解説 五、格助詞「で」表示动作的场所及手段、方法、材料

運動場でバスケットボールやラジオ体操をします。
自転車で行きます。

表示在某一地方做某件事或用某种工具、方法、材料做某件事时，要在表示地点或工具等的词后面加格助词「で」

○わたしはよく閲覧室で雑誌や新聞を読みます。(我常常在阅览室看杂志、报纸等。)

○李さんは教室で宿題をします。(小李在教室做作业。)

○ラジオで日本語を勉強します。(跟着广播学日语。)

○船で行きます。(坐船去。)

読解文 佐藤さんの家は東京の郊外にあります。会社は東京の市内にあります。家から駅まで十分歩きます。そして電車で会社へ行きます。家から会社まで一時間ぐらいかかります。

練習 六、次の中国語を日本語にしなさい（请将下列汉语译成日语）。

(2) “坐什么车来的？”

“公共汽车很挤，所以我骑自行车来学校。”

第七課「日曜日」

前文 留学生の木村さんは日本語科の呂さんといっしょに自転車で淮海路へ行きました。

会話 木村 バスで行きましたか。

李 いいえ、自転車で行きました。

読解文 わたしは友達といっしょに蘇州へ行きました。学校から駅までバスで行きました。

駅から汽車に乘りました。

練習 六、次の中国語を日本語にきなさい。

(2) “你朋友家远吗?”

“不远。骑自行车用了十五分钟左右。我们十点左右到哪儿。午饭在朋友家三人提起吃的。”

このように日本語の教科書では「乗り物+で」という表現が教えられているものの、「乗り物+に乗って」との違いについては触れられていない。

3. 辞書の記述

日中辞典を見ると、次のように、日本語の「乗る」には中国語の“坐”、“骑”、“乘”、“上”、“开”など様々な語が対応していることが記述されている。

小学館『日中辞典 (第2版)』(p. 1496)

のる【乗る・載る】1 (人や動物が)

① (乗り物などに) [座って乗る] 坐 zuò; [またがって乗る] 骑 qí; [文語的] 乘 chéng; [乗り込む] 上 shàng; [運転する] 开 kāi. ¶車 [汽車, バス, 船, 飛行機, エレベーター] に～ / 坐「车 [火车, 公共汽车, 船, 飞机, 电梯]. ¶自転車 [ウマ, オートバイ, ラクダ] に～ / 骑「自行车 [马, 摩托车, 骆驼 luòtuó]. ¶宇宙船に乗って月へ行く / 乘宇宙 yǔzhòu 飞船去月球. ¶タクシーに乗って家に帰る / 坐出租 chūzū 汽车回家. ¶ぶらんこに～ / 打 [荡] [秋千]. ¶ジェットコースターに～ / 坐过山车.

比較 “坐” “骑” “乘” “上” “开” : “坐” は基本的に, “汽车” “火车” “船” “飞机” など, 「腰掛けて」乗る場合に使われ, “骑” は “马” “自行车” “摩托车” などに「またがって」乗る場合に使われる. “乘” は文章語的な語で, “坐” “骑” の意味で用いられる. “上” は乗り物に乗り込むことをさす. また, “开” は “汽车” “火车” “船” “飞机” などの乗り物を運転操縦することをさす. 「車に乗る」は, 乗客としてならば “坐车”, 運転するのであれば “开车”, 乗り込むのであれば “上车” という.¹⁾

このように中国語の「ノル」は誰が乗り物を動かすか、どのような姿勢で乗り物に乗るかによって使われる語が異なってくる。これをまとめると図Aのようになる。これを見ると、日本人中国語学習者は中国語のノル表現のおよその使い分けが分かる。

しかし、「で」と「に乗って」の使い分けについては説明されておらず、中国人日本語学習

自分で動かす	椅子に腰かける	“开” (汽车、火车、船、飞机)
	背中に跨る	“骑” (马、大象、自行车、摩托车)
他人が動かす	椅子に腰かける	“坐” (汽车、火车、船、飞机)
	背中に跨る	“他骑马 (自行车 / 摩托车) 带着我” ²⁾
自動運転	床に立つ	“坐” (电梯、自动扶梯)
“乘”：“坐”、“骑”の文章語的な語		
“上”：乗り込む		

図A 中国語のノル表現の分類

者の便宜には供していない。中日辞典も同様である。関連する先行研究も見つからなかった。そのため、筆者が「で」と「に乗って」の使い分けについて調べることにした。

4. 先行研究

本節では筆者自身の先行研究を概観し、本稿の考察の立場を示す。

4.1. 杉村 (2021)

杉村 (2021) は中国語の“坐、骑、乘、开”の日本語訳について論じたものである。その結果、以下のことを指摘した。

1. “坐”、“骑”、“乘”の日本語訳

- ・後に移動動詞や移動名詞が来ない場合は「乗る」と訳す。
- ・“坐+[乗り物]+去”のように移動動詞を伴って連動文になる場合は、「バス {に乗って / で} 行く」のように「に乗って」または「で」と訳す。
 - ①一般的な乗り物には「で」が使われやすく、特殊な乗り物には「乗る」が使われやすい。
 - ②通勤、通学など日常の移動には「で」が使われやすく、特別な移動には「で」も「乗る」も使われる。
- ・“坐+[乗り物]+的旅行”のように移動名詞を伴って連体修飾になる場合は、「列車での旅行」のように「で」と訳す。
- ・“坐 / 骑 / 乘+[乗り物]+的人”という形で連体修飾になる場合は、普通は「バスに乗った人」のように動詞の連体形で訳す。ただし、その乗り物をその人の属性と捉えれば「車

椅子の人」や「赤いスポーツカーの人」のように「の」で訳す。

- ・“坐轮椅”は車椅子を椅子として捉えた場合は「車椅子に座る」と訳し、乗り物として捉えた場合は「車椅子に乗る」または「車椅子で」(連動文の場合)と訳す。
- ・“坐座位”は「着席」の意味で使う場合は「座る」と訳し、「乗車/乗船/乗機」の意味で使う場合は「乗る」と訳す。

2. “开”の日本語訳

- ・後に移動動詞や移動名詞が来ない場合は「乗る」または「運転する/操縦する/動かす」と訳す。
 - ①「運転する/操縦する/動かす」を使うと操作の意味が強くなり、「乗る」を使うと操作の意味が弱くなる。
 - ②「運転する」は「車」「トラック」「タクシー」「バス」「汽車」のような一般的な乗り物の操作に使う。
 - ③「操縦する」は「モーターボート」「戦闘機」「客船」「旅客機」など船舶や航空機の操作に使う。
 - ④「動かす」は「エレベーター」「エスカレーター」のような単純なボタン操作に使う。
 - ⑤「乗る」は「車」「モーターボート」「エレベーター」のように客や同乗者を乗せず、移動者が自分で乗り物を操作する(または自動運転の)場合に使われる。「タクシー」「客船」のように乗客を乗せる乗り物の場合に「乗る」を使うと、操作者が個人的にその乗り物を使って移動する意味になる。
- ・“开+[乗り物]+去”のように移動動詞を伴って連動文になる場合は、「車 {に乗って/を運転して/で} 行く」のように「に乗って」または「を {運転して/操縦して/動かして}」または「で」と訳す。
 - ①一般的な乗り物には「で」が使われやすく、特殊な乗り物には「乗る」または「運転する/操縦する/動かす」が使われやすい。
 - ②通勤、通学など日常の移動には「で」が使われやすく、特別な移動には「で」も「乗る」も「運転する/操縦する/動かす」も使われる。
- ・“开+[乗り物]+的旅游”のように移動名詞を伴って連体修飾になる場合は、「車での旅行」のように「で」と訳す。
- ・“开+[乗り物]+的人”という形で連体修飾になる場合は、普通は「車に乗った人」のように動詞の連体形で訳す。ただし、その乗り物をその人の属性と捉えれば「赤いスポーツカーの人」のように「の」で訳す。

3. 所要時間, 乗車距離, 乗車人数を表す場合

・所要時間を表す場合

- ① “坐/騎/乗/开+[乗り物]+[時間]” は「乗り物で [時間] (で着く/かかる)」と訳す。
- ② “坐/騎/乗/开+[時間]+[乗り物]” は「乗り物に [時間] 乗る」と訳す。
- ③ “坐/騎/乗/开+[時間]” は「[時間] かかる」と訳す。

・乗車距離を表す場合

“坐/騎/乗/开+[乗り物]+[距離]” は「乗り物に [距離] 乗る」または「[距離] 乗り物に乗る」と訳す。

・乗車人数を表す場合

- ① “坐/乗+[乗車人数]” は「○人乗る」と訳す。
- ② “可坐○个人的+[乗り物]” は「○人乗り (の乗り物)」と訳す。

ただし、これらの指摘は筆者の個人的な語感によるところが大きかった。

4.2. 杉村 (2022a)

そこで杉村 (2022a) では国立国語研究所の「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ) と日本語話者に対するアンケート調査を利用して、「乗り物+で」と「乗り物+に乗って」のどちらをよく使うかを調査した。このうちコーパス調査の結果は次の通りである。

〔検索の概要〕

- ・コーパス：現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ)
- ・検索ソフト「中納言」
- ・検索対象は「全データ」
- ・検索設定
 - ①前方共起1(キーから1語以内) 書字出現形が〔車/バス/電車〕
キー(---) 書字出現形が〔で〕
 - ②前方共起1(キーから1語以内) 書字出現形が〔に〕
キー(---) 書字出現形が〔乗っ〕
後方共起1(キーから1語以内) 書字出現形が〔て〕

〔調査結果〕

コーパスから出現した「乗り物 {で/に乗って} +述語」の「で」と「に乗って」の用例数と「で」の割合を示すと表1のようになる。

表1 「で」と「に乗って」の用例数と「で」の割合

乗り物	述語	で		に乗って		「で」の割合
自転車	行く	67		9		88.2%
	来る	18		8		69.2%
	帰る	11		7		61.1%
	移動する	18		0		100.0%
	通う	15	40	0	2	95.2%
	通学する	11		0		
	登校する	6		1		
	通勤する	8		1		
	出勤する	0		0		
	帰宅する	18		0		100.0%
	(時間)	21		1		95.5%
バス	行く	88		27		76.5%
	来る	18		5		78.3%
	帰る	19		13		59.4%
	移動する	33		2		94.3%
	通う	10	25	2	5	83.3%
	通学する	15		0		
	登校する	0		1		
	通勤する	0		0		
	出勤する	0		2		
	帰宅する	3		0		100.0%
(時間)	100		4		96.2%	
電車	行く	83		23		78.3%
	来る	13		6		68.4%
	帰る	23		1		95.8%
	移動する	18		0		100.0%
	通う	12	24	1	6	80.0%
	通学する	2		2		
	登校する	1		0		
	通勤する	8		2		
	出勤する	1		1		
帰宅する	2		0		100.0%	
(時間)	40		1		97.6%	

これにより、全体的に「に乗って」より「で」の方が出現率が高く、特に日常的な通勤・通学や所要時間を表す場合には「で」が使われやすいことを指摘した。

一方、アンケート調査の結果は次の通りである。

〔アンケートの概要〕

- ・被験者：日本語話者（名古屋大学の学生）95人
- ・調査日：2021年10月5日
- ・設問：以下の形式で22問（具体例は5節で示す）

問 次の「で」と「に乗って」のうち、より適当だと思うものに○を付けてください。

1. 宇宙人が円盤（で／に乗って）地球にやってきた。

（以下略）

〔調査結果〕

後に移動動詞や所要時間が来る場合、普通は「で」が選択されやすいが、①特別な乗り物に乗る場合、②交通機関を乗り継ぐ場合、③特別な移動をする場合には相対的に「に乗って」が選択されやすくなることを明らかにした。

4.3. 杉村 (2022b)

杉村 (2022b) では、杉村 (2021) と杉村 (2022a) で論じたことをまとめ、中国語の“坐+车”と“开+车”の日本語訳の注意点について論じた。また、例(7)~(13)のような特殊な乗り物の場合についての考察が必要であることを指摘した。

- | | |
|---------------------------------------|------------------------|
| (7) 他 { *开 / ?坐 / 骑 } 着魔法扫帚在天上飞。 | (魔法の箒 { ?で / に乗って }) |
| (8) 他 { *开 / 坐 / 骑 } 着魔毯在天上飞。 | (魔法の絨毯 { ?で / に乗って }) |
| (9) 他 { ?开 / 坐 / *骑 } 火箭去月球。 | (ロケット { で / に乗って }) |
| (10) 他 { ?开 / 坐 / *骑 } 时光机回到过去。 | (タイムマシン { で / ?に乗って }) |
| (11) 他 { *开 / 坐 / *骑 / *驾 } 自动驾驶汽车上学。 | (自動運転車 { で / に乗って }) |
| (12) 他 { ?开 / 坐 / ?骑 / 驾 } 马车上学。 | (馬車 { で / に乗って }) |
| (13) 他 { *开 / ?坐 / 骑 / ?驾 } 海豚过海。 | (イルカ { ?で / に乗って }) |

以下、本稿ではこれらの先行研究を受け、中国人日本語学習者にもアンケート調査を行い、中国人日本語学習者の習得困難点を探っていく。

5. アンケートの概要

本稿では杉村 (2022a) で行った日本語話者に対するアンケート調査を利用して、日本語話

者（日本人）、中国語を母語とする上級日本語学習者（上級）、同初級日本語学習者（初級）の「乗り物+で」と「乗り物+に乗って」の選択率を比較する。

〔被験者と調査時期〕

- ・日本人：名古屋大学の学生95人（2021年10月5日）
- ・日本語学習者（中国語話者）
 - 上級（N1合格者）35人 名古屋大学の大学院生・研究生、大連外国語大学の大学院生・修了生、河南省の高校教員（2022年3月14～19日）
 - 初級（学習歴6か月）24人 上海師範大学日語系1年生（2022年3月17～20日）

調査項目と調査結果を表2に示す。表2は日本人の「で」の選択率が高いものから順に並べたものである。このうち網掛けした項目は所要時間を表すものである。

表2 二者択一テストにおける「で」の選択率（%）（日本人の降順）

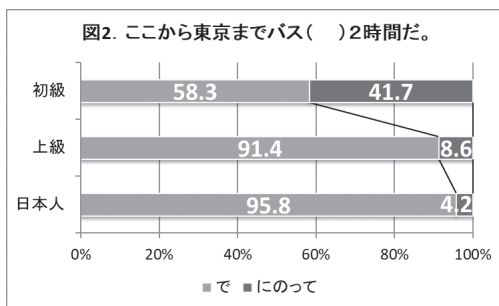
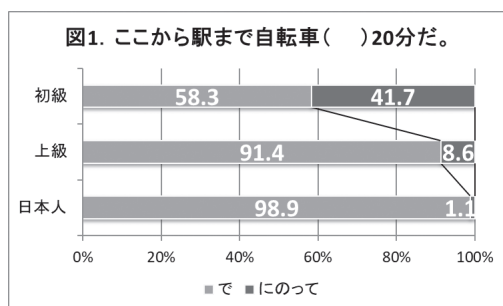
調査項目（22問）	日本人	上級	初級
1. 彼はバス（で／に乗って）通勤する。	98.9	94.3	70.8
2. 彼はタクシー（で／に乗って）通勤する。	98.9	94.3	58.3
3. ここから駅まで自転車（で／に乗って）20分だ。	98.9	91.4	58.3
4. 彼は自家用車（で／に乗って）通勤する。	96.8	85.7	62.5
5. ここから東京までバス（で／に乗って）2時間だ。	95.8	91.4	58.3
6. 彼は飛行機（で／に乗って）ハワイに行った。	94.7	88.6	45.8
7. 彼は電車（で／に乗って）学校に通う。	94.7	85.7	83.3
8. 彼は自転車（で／に乗って）学校に通う。	93.7	82.9	79.2
9. 彼は自転車（で／に乗って）公園に行った。	90.5	68.6	75.0
10. 彼は電車（で／に乗って）買い物に行った。	88.4	68.6	54.2
11. 彼は電車（で／に乗って）旅に出た。	85.3	60.0	62.5
12. 彼はタクシー（で／に乗って）犯行現場に行った。	77.9	45.7	33.3
13. 宇宙人が円盤（で／に乗って）人間をさらっていった。	76.8	40.0	41.7
14. 彼はバイク（で／に乗って）犯行現場に行った。	75.8	51.4	50.0
15. 彼は電車（で／に乗って）家出をした。	71.6	37.1	45.8
16. 彼は駅からバス（で／に乗って）通勤する。	69.5	71.4	58.3
17. 彼は戦闘機（で／に乗って）ハワイに行った。	56.8	45.7	45.8
18. 彼は馬（で／に乗って）学校に通う。	36.8	34.3	50.0
19. 宇宙人が円盤（で／に乗って）地球にやってきた。	35.8	31.4	37.5
20. 彼は象（で／に乗って）学校に通う。	29.5	40.0	58.3
21. 孫悟空が筋斗雲（で／に乗って）やってきた。	29.5	31.4	54.2
22. 孫悟空が筋斗雲（で／に乗って）空を飛んでいる。	21.1	22.9	50.0

6. アンケート結果の考察

以下、関連する項目ごとにアンケート結果を見ていく。

6.1. 所要時間を表す場合

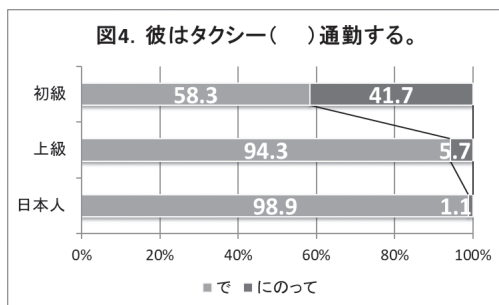
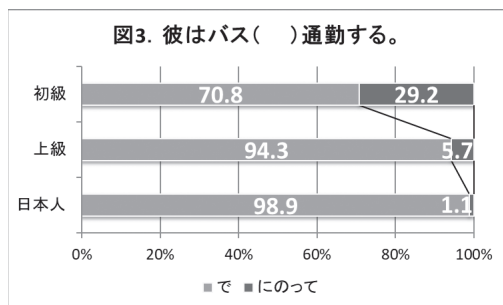
まず、所要時間を表す場合から見る。図1、図2のように、日本人はほぼ全員が「で」を選択している。これに対し、学習者は初級では「で」の選択率が6割弱しかないが、上級では日本人に近い約9割が「で」を選択している。このことから、学習者は初級では「に乗って」の過剰使用をしても、上級になると「で」が使えるようになると思われる。

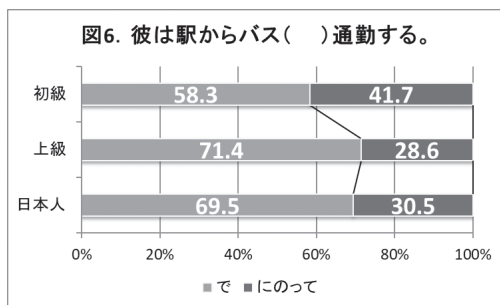
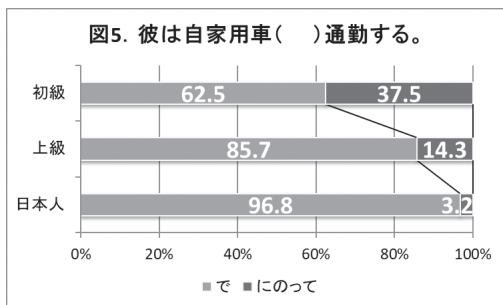


6.2. 通勤・通学の場合

次に、通勤・通学の場合について見る。図3～図5は通勤手段が一つだけの場合である。この場合、日本人のほぼ全員が「で」を選択している。これに対し、学習者は初級では「で」の選択率が6～7割しかないが、上級では日本人に近い約9割が「で」を選択している。このことから、学習者は初級では「に乗って」の過剰使用をしても、上級になると「で」が使えるようになると思われる。

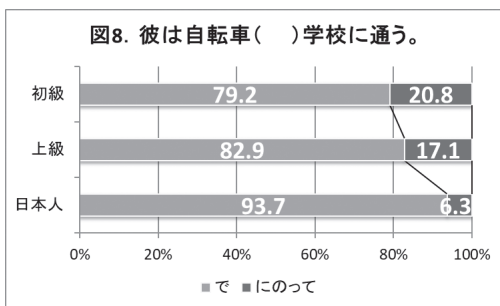
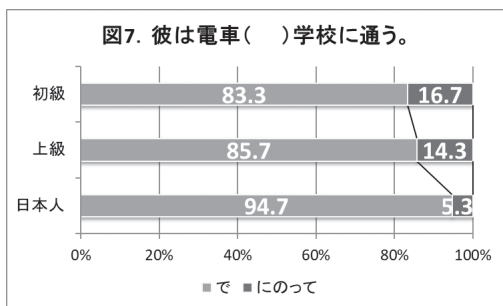
一方、図6のように家から駅までと駅から職場までを別の交通手段で移動する場合は、日本人の「に乗って」の選択率が約3割に上がっている。これは別の交通手段に乗り換えるというイメージが強くなるためであると考えられる。この場合も初級では「に乗って」の選択率





が約4割と日本人よりやや高めであるが、上級になると日本人と同じ約3割になっている。

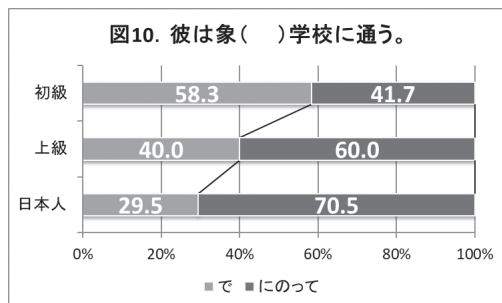
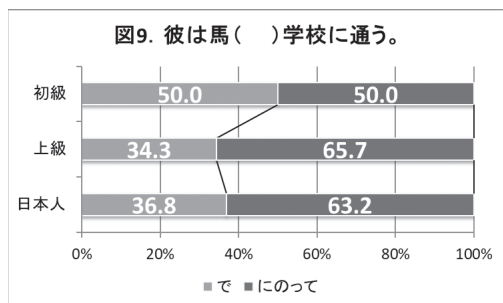
次の図7、図8は通学の場合である。この場合も日本人のほぼ全員が「で」を選択しており、初級、上級、日本人の順に「で」の選択率が上がっている。ただし、通勤の場合に比べると、初級学習者の「で」の選択率が高くなっている点で違いがある。これは教科書で「自転車で学校に行く」のような文を習い、「乗り物()+学校に行く」のような文が来れば、「で」を選ぼうという意識が働くためかもしれない。



以上のように、日常的な通勤・通学に使う交通手段を表す場合、日本人は「で」を選択する傾向がある。ただし、通勤・通学の途中で別の交通手段に変える場合は、乗車のイメージが強くなって「に乗って」の選択率が上がる。また、学習者は初級から上級に習得レベルが上がると、日本人の選択率に近づくことが分かる。

6.3. 特殊な乗り物の場合

次に、特殊な乗り物の場合について見る。図9、図10は上の図7、図8と同じ通学の場合である。しかし、電車や自転車のような通常の交通手段ではなく、馬や象といった日本人にとっては特殊な交通手段の場合である。この場合、日本人の「で」の選択率は約3～4割と低くなり、「に乗って」の選択率が約6～7割と高くなっている。特殊な乗り物の場合、わざわざそれに乗り込むというイメージが強くなるため、「に乗って」の選択率が高くなると思われる。この場合、初級では日本人ほど「に乗って」の選択率が高くないが、上級になると日本



人の選択率に近づく。

また、図11と図12はいずれも航空機を使う場合であるが、図11は一般的な飛行機であるのに対し、図12は戦闘機であるという違いがある。この場合、日本人は飛行機ではほぼ全員が「で」を選択しているのに対し、戦闘機では「に乗って」の選択率が4割強になっている。このことから、特殊な乗り物の場合は「に乗って」の選択率が高くなることが分かる。

一方、学習者の場合、初級では飛行機でも戦闘機でも「で」と「に乗って」の選択率がほぼ半々になっており、飛行機と戦闘機の違いが「で」と「に乗って」の選択に影響していない。しかし、上級では飛行機では「で」の選択率が約9割と高く、戦闘機では「に乗って」の選択率が5割強になっている。このことから、この場合も学習者は上級になると日本人のような使い分けができるようになると考えられる。

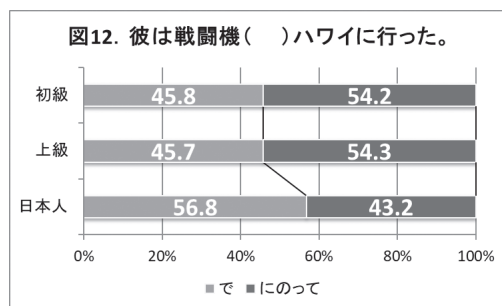
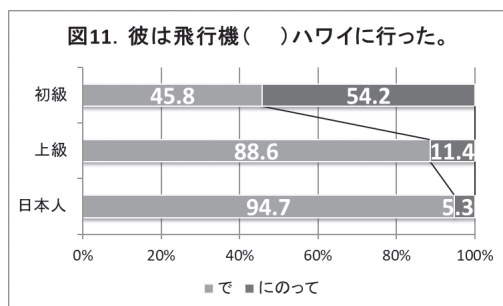
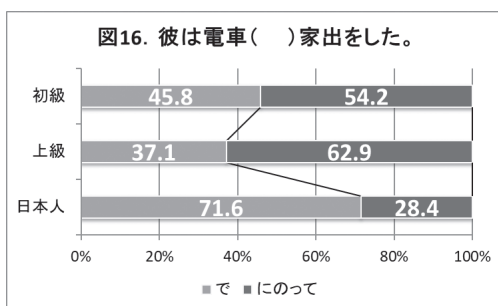
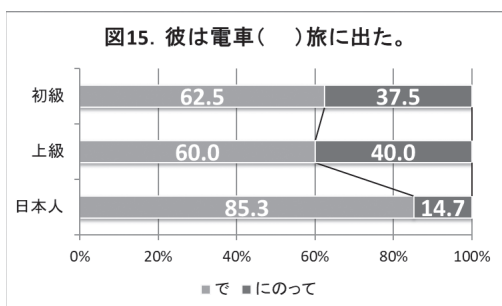
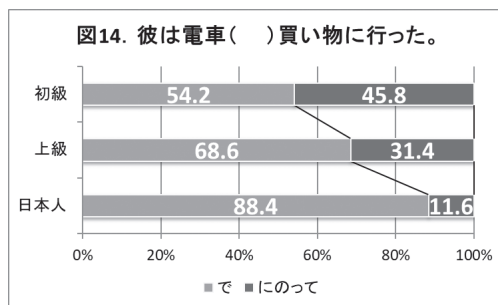
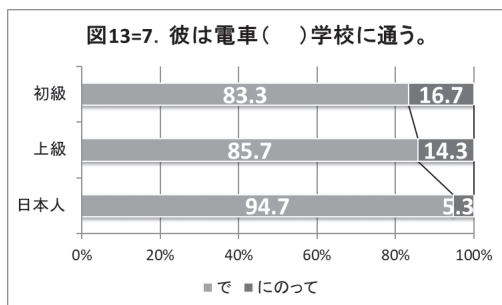


図11と図12の違いは乗り物の特殊性とも関わるが、次のような移動の特殊性とも関わる。すなわち図11のように通常の旅行や出張のイメージの場合は「で」の選択率が高くなり、図12のように特殊任務の場合は相対的に「に乗って」の選択率が高くなるのである。

6.4. 特殊な移動の場合

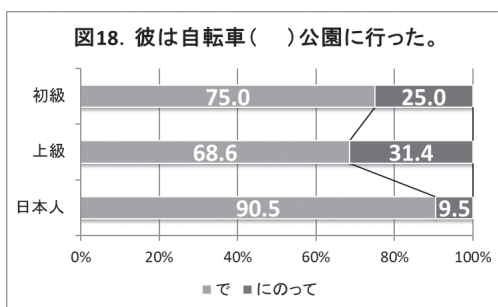
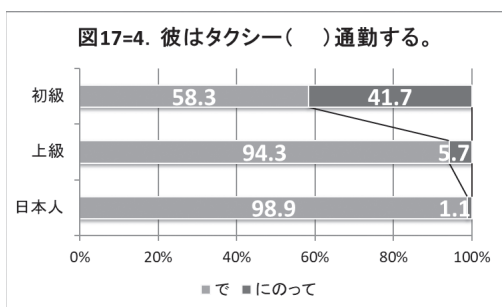
次に、特殊な移動の場合について見る。図13～図16はいずれも電車による移動を表す場合であるが、移動の目的が通学、買い物、旅、家出というように、日常的なものから臨時的なものへと変わっている。この場合、日本人は全体的に「で」の選択率が高いが、日常性が薄れる

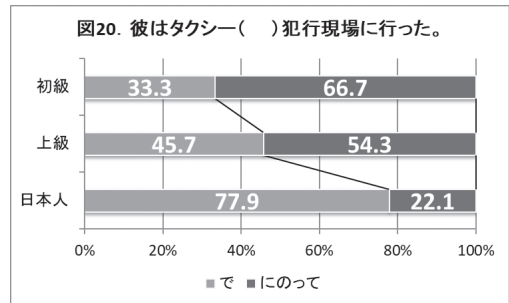
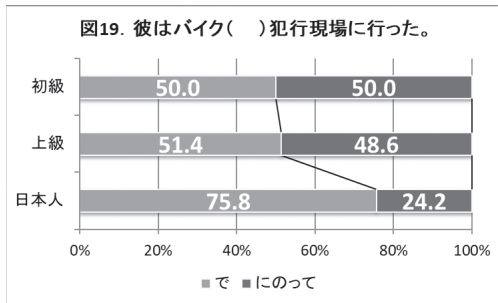


につれて少しずつ「に乗って」の選択率が高くなっている。これに対し、学習者の場合は、上級では日本人と同様に日常性が薄れるにつれて少しずつ「に乗って」の選択率が高くなっているが、初級では必ずしもそうはなっていない。

また、学習者は初級でも上級でも全体的に日本人に比べて「に乗って」の選択率が高く、特に買い物、旅、家出の場合はそれが顕著である。さらに通学や買い物のような日常的な移動の場合は初級から上級に上がると日本人の選択率に近づくが、旅や家出のような非日常的な移動の場合は日本人の選択率に近づいていない。以上のことから、初級では日常性の有無が「で」と「に乗って」の選択にあまり影響しないが、上級になるとそれが過剰に影響するようになると考えられる。

次の図17～図20も移動目的の違いを比べたものである。この場合も、日本人は通勤、公園への移動、犯行現場への移動というように日常性が薄れるほど「に乗って」の選択率が高く



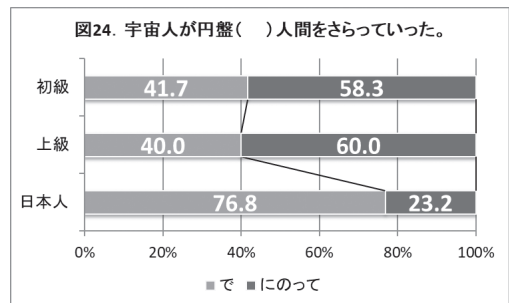
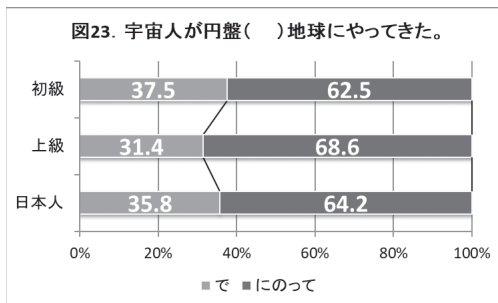
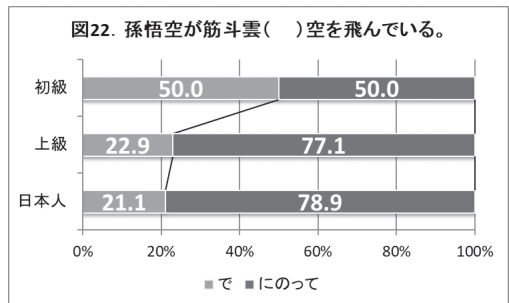
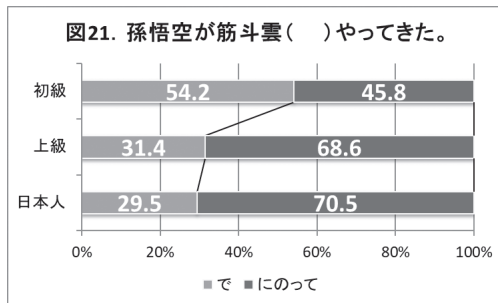


なっている。これに対し、初級では日本人や上級ほどには日常性の有無が「で」と「に乗って」の選択に影響していない³⁾。一方、上級では日本人と同様に日常性が薄れるほど「に乗って」の選択率が高くなるが、日本人に比べて「に乗って」の過剰使用が目立つ。

なお、図19と図20は、バイクよりタクシーで犯行現場へ行く方が特殊であり、「に乗って」の選択率が高くなると予想して調査項目を立てたものである。しかし、アンケートの結果を見ると、日本人や上級ではさほど違いが見られなかった。一方、初級ではタクシーの方が「に乗って」の選択率が高かった。

6.5. 道具のイメージの場合

最後に、乗り物に道具のイメージがある場合について見る。乗り物も道具といえ道具であるが、ここでいう道具というのは移手段以外の用途として使う場合を指す。図21～図24は



いずれも筋斗雲や円盤といった特殊な乗り物の場合である。そのため、図21～図23において日本人は「で」より「に乗って」の選択率の方が高くなっている。この場合、初級では「で」の選択率も比較的高いが⁴⁾、上級になると日本人の選択率に近づく。

しかし、同じ特殊な乗り物の場合でも、図24の場合は日本人の「で」の選択率が76.8%と他の3つに比べて高くなっている。これは文末の述語が図21～図23では「やってくる」、「空を飛ぶ」のように移動を表す表現であるのに対し、図24では「人間をさらう」のように取得を表すことに焦点を当てた表現であるためであると考えられる。この場合、円盤は単なる移動手段ではなく、誘拐の道具として使われているため、具格の「で」が選択されやすくなると考えられる。

この場合、初級だけでなく上級でも「に乗って」の選択率が6割と高くなっており、上級になっても日本人の選択率に近づいていない。学習者にとって、特殊な乗り物の場合は「に乗って」を使いやすいということはイメージしやすいが、乗り物を道具として認識するかどうかというのは基準が漠然としていてイメージしにくいのだと思われる。

7. まとめ

本稿はアンケートによる二者択一テストを利用して、日本人、中国人上級日本語学習者、同初級学習者における「乗り物+で」と「乗り物+に乗って」の選択について論じたものである。その結果、初級では日本人の選択率との差が大きくても、上級になれば大方の場合に日本人の選択率に近づくことを明らかにした。ただし、「彼は電車（ ）家出した」のような非日常的なことを表す場合や、「宇宙人が円盤（ ）人間をさらっていった」のように乗り物を移動手段以外の道具として使う場合は、上級になっても日本人の選択率に近づかないことを指摘した。

今後はさらに詳しく場面設定をして、「で」と「に乗って」の使い分けについて明らかにしていきたい。

付記：本稿は2022-2026（令和4-8）年度科学研究費基金（基盤研究◎）「中国人日本語学習者の「視点」習得に関する縦断的研究とオンライン教材開発」（研究代表者：杉村泰、課題番号22K00636）による研究成果の一部である。

注

1) 彭广陆（1998: 56）は次のことを指摘している。

「人们乘坐交通工具前往某地的这一组合性动作可以分为两个阶段，第一个阶段是“将身体移到交通工具中/上（乗物の上または内部に身を置く＝乗り込む）」，第二个阶段是“身体随交通工具一同移动（乗り物に

乗ったまま移動する)”。(中略) 在汉语中, 表示第一个阶段是使用动词“上”, 而表示第二个阶段则使用动词“坐”。」

(杉村訳: 人が乗り物に乗って、ある場所に移動するという複合動作は、二つの段階に分けられる。第一段階は「乗物の上または内部に身を置く＝乗り込む」段階であり、第二段階は「乗り物に乗ったまま移動する」段階である。(中略) 中国語では、第一段階を表す動詞として“上”を使い、第二段階を表す動詞として“坐”を使う。)

- 2) 他人が動かす馬やオートバイの背中に同乗する場合については辞書に記述されていたものではなく、本稿で付け加えたものである。
- 3) 図18は「で」の選択率が75.0%と他の3つよりも高くなっている。この理由も教科書で「自転車で学校に行く」のような文を習い、「自転車()+行く」のような文が来れば、「で」を選ぼうという意識が働くためかもしれない。
- 4) ただし、初級でも円盤の場合は日本人の選択率とあまり変わらない。筋斗雲と円盤の違いについてはよく分からない。

引用文献

- 杉村泰 (2021) 「「坐、騎、乗、开」の日本語訳について」『中文日訳の基礎的研究』三, 日中言語文化出版社, pp. 40-48
- 杉村泰 (2022a) 「日本語の「[乗り物]で」と「[乗り物]に乗って」の選択について」『東アジア日本学研究会』第7号, 東アジア日本学研究会, pp. 43-50
- 杉村泰 (2022b) 「關於漢語“坐+車”, “開+車”の日譯」『第二屆名古屋大學/屏東大學文學交流暨論文發表會論文集』, 名古屋大學人文學研究科・國立屏東大學中國語文學系, pp. 3-10
- 対外経済貿易大学・商務印書館・小学館(編) (2002) 『日中辞典 (第2版)』, 小学館
- 彭广陆 (1998) 「从词语搭配错误看汉语对日语学习的影响」『日本语言文化论集』第1輯, 北京大学出版社, pp. 55-69
- 彭广陆・守屋三千代(总主编)、李奇楠・押尾和美(主编) (2009) 『综合日语 (第一册)』(修订版), 北京大学出版社
- 周平・陈小芬(編) (1993) 『新编日语 (第一册)』, 上海外语教育出版社

キーワード: 日本語学習者、乗り物、「に乗って」、「で」、所要時間

摘要关于以汉语为母语的日语学习者在日语「交通工具+で」和
「交通工具+に乗って」之间的选择问题

杉村 泰

本文采用调查问卷二选一测试的方式，以日语母语者、中国高级日语学习者、中国初级日语学习者为调查对象，对三者在「乗り物+で」と「乗り物+に乗って」之间的选择问题上进行了比较研究。研究表明，中国日语学习者即使在初级阶段与日语母语者的选择率差异较大，也会在到达高级阶段后大致与日语母语者的选择率趋近。但是本文也同时指出，对于例如「彼は電車（ ）家出した」等非日常生活场景的情况，或者「宇宙人が円盤（ ）人間をさらっていった」等将移动交通工具用于其他用途的情况，即使到达高级阶段，中国日语学习者的选择率也会与日语母语者存在较大差异。

关键词：日语学习者，交通工具，“に乗って”，“で”，所需时间